

老上小学校

令和2年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】
 ○「令和の四改革」の推進により、すべての子どもの学ぶ力の向上を図る。

【学校 目標】
 ○学ぶ楽しさ 人のあたたかさ 明日への希望 を見つける学校 ～レジリアンスを育む学校づくり～
 ○おおきなめあてにむかって いどみ つづける子 かんがえ ふかめる子 みとめ つなげる子

【現状と課題】
 ○視点1・・・学習への意欲は高いが、対話的な学習によって深く追求しようとする力が弱い。
 ○視点2・・・3つの宝箱の活用で表現力の技術は身につくつつある、自分の言葉で伝える力をさらに高めさせたい。
 ○視点3・・・傷つきに弱い子どもや不安の高い子どもが多い。また、経験の浅い教員も多く、子どもの考えを深めるための発問の工夫や学級経営など職員同士で学び合い高め合うことが必要である。

取組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○老上の学習スタイルの確立 (お)おきなめあてにむかって ・明確な単元のゴールを設定 (い)どみ つづける子 ・見通しの持てる学習課題 (か)かんがえ ふかめる子 ・思考を深める発問の工夫 (み)とめ つなげる子 ・表現、共有の場とふり返り	【取組事項】 ○学習のルール徹底と授業のユニバーサルデザイン化 ○ICT機器の有効活用により授業効率と学習意欲を高める ○話し合い活動を深める3つの宝箱 ・言葉の宝箱 ・交流の宝箱 ・ふりかえりの宝箱	【取組事項】 ○レジリアンスを育むためのスキル学習 ○老上OJL(on the job leaning)による学び合い ○読書チャレンジ ・60冊——10,000ページ ・ビブリオバトル

その他 取組事項
 ・全校的に、なわとびに取組み、体力向上と仲間づくりをめざす(2年目)。
 ・中学校区での実践交流をすすめる。

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目	2回目
			評価	評価
全体		・子どもは学校に行くのを楽しみにしている(保護者評価95%)		
視点1	学習意欲 探究的な学習	・授業がよくわかる(児童評価95%) ・将来への夢を持っている(児童評価90%)		
視点2	ICT機器の効果的活用 交流の宝箱	・3つの宝箱活用(100%) ・一人当たりアクセス数(10回/月)		
視点3	読書チャレンジ OJLによる学び合い	・読書目標年間達成率(80%) ・研修に計画的に取り組んでいる(自己評価4/5)		
その他	縄跳びを通じた体力づくり	・進んで運動に取り組む(児童評価80%)		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題